

今後の取組

行政手続きのオンライン化

行政手続きのオンライン化

DX推進計画重点事業	WG名	内容
1 行政手続きのオンライン化	①貸館予約システムWG	貸館予約システムの導入（中央公民館におけるシステム利用促進、中央公民館以外の施設への横展開、キーレスの導入検討）
	②BPR推進WG	・処理件数が多く利便性向上や業務効率化効果が高い手続、本人確認が不要な手続から優先的に実施 ・オンラインを前提としたルール整備と業務プロセスの見直しを行う
		業務の流れを可視化したうえで、有効なデジタルツールの活用を検討
3 情報システムの全体最適化 5 市役所のDX推進	③ミライズWG	職員でなければできない企画立案業務や住民への直接的なサービス提供に注力できる環境づくり
2 マイナンバーカードの普及・活用 8 デジタルインフラの整備	④マイナンバーカード活用・普及WG	・未申請者へのアプローチ及び利活用サービス周知 ・新たな利活用サービスの追加、機能拡充
7 デジタルデバイドの解消	⑤デジタルデバイド解消WG	まえばしデジタルサポーター制度の充実
4 官民データ活用の推進 6 地域社会のDX推進	⑥地域社会のDX推進WG	官民の相互連携を前提とした市役所及び地域のデータ整備・活用を推進（オープンデータの推進、地域アーカイブの推進）

ポイント1

処理件数が多く利便性向上や業務効率化効果が高い手続、
本人確認が不要な手続から優先的に実施

【参考】行政手続一覧(R5実施)に基づく分類 ※調査対象2,213手続のうち件数不明141手続を除く

年間手続件数	本人確認なし（件）	本人確認あり（件）	合計（件）
501～	7 1	8 3	1 5 4
51～500	1 6 9	8 8	2 5 7
0～51	1 1 3 7	5 2 4	1 6 6 1
計	1 3 7 7	6 9 5	2 0 7 2

ポイント2

オンラインを前提としたルール整備と 業務プロセスの見直しを行う

行政手続のオンライン化に取り組むにあたっては、既存のやり方を前提とするのではなく、業務内容や業務プロセスを抜本的に見直し、再構築する【BPR】ことが重要

(視点例)

■利用者目線

- ・申請内容(入力項目)や添付書類は省略できないか？
- ・対面での説明を行わない分、いかに申請の流れ等をわかりやすく伝えるか

■職員目線

- ・紙を前提としない業務全体(起点から終点)の流れは？
 - ※特に、オンラインで申請を受け付けた後の事務処理が課題
- ・どうしたら工数を減らせるか？

今後の取り組み

●オンライン化の実施促進通知と伴走支援（11月上旬）

- ・各所属において、オンライン化の可否検討を依頼
- ・処理件数が多く利便性向上や業務効率化効果が高い手続については、DX-WG推進室による個別の聞き取りや伴走支援を予定

●専用ポータルサイトを開設（11月上旬）

- ・必要な情報や各種マニュアル等への一元的なアクセス先を提供

●研修会の開催（12月上旬）

- ・Logoフォーム担当者によるオンラインでの研修会を実施

